

# よこすか ECO通信

第21号(平成28年6月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 6月は環境月間・6月5日は環境の日

「環境月間」は平成3年から環境庁（現環境省）の呼びかけにより始まり、6月の1ヶ月間、全国で環境に関連した行事などが行われています。

「環境月間」は、6月5日の「環境の日」に由来しています。「環境の日」は、1972年6月5日にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）で「環境の日」を定めています。

## 横須賀市の環境月間イベント

横須賀市では、「環境月間」に次のイベントを行うほか、ポスターの掲示による啓発や、パネルの展示等を行っています。この機会に、環境について考えてみませんか。

### 平成28年度環境月間啓発イベント

#### ECO体験「かんたん！オリジナルキャンドルホルダーづくり」

日時：平成28年6月19日（日曜日）11時～16時

場所：ショッパーズプラザ横須賀2Fセンタープラザステージ

内容：参加自由・無料

今年は、「省エネ・節電」をテーマとして、家庭の省エネや節電の取り組みを促すとともに「クールアース・デー」※での消灯を呼びかけます。

#### ①キャンドルホルダーづくり（先着300名）

キャンドルを入れるグラスにマジックで絵や文字等を書きます。

完成品は、キャンドルと一緒に持ち帰れます。

#### ②発電体験

手回し発電機や風力発電、太陽光発電のミニチュアを使って、発電体験を行います。

#### ③展示コーナー

省エネ・節電に関するパネルの展示や、パンフレットの配架を行います。

エコメッセージを付箋に書いて、スカリンボードに貼り付けるコーナーもあります。



※クールアース・デー

環境省では、毎年7月7日を「クールアース・デー」として、全国のライトアップ施設や家庭等に、照明の一斉消灯を呼びかけています。

裏面には季節の自然図鑑「潮間帯の生き物」の掲載があります。



# 夏の環境学習講座などのお知らせ



## 横須賀市自然・人文博物館

＝ トピックス展示 ＝

「石から鉄へー古代の道具ー」

日時 8月21日(日)まで 9時～17時

「カブトムシを調べよう」

日時 7月9日(土)～8月28日(日) 9時～17時

場所 横須賀市自然・人文博物館(本館)



＝ 夏休み企画 ＝

「よこすか歴史物語1」ー横須賀の産業ー

日時 7月16日(土) 13時30分～16時

場所 横須賀市自然・人文博物館(博物館講座室)

定員 先着100人

「博物館たんけん(しぜん)」

日時 7月28日(木) 10時～12時

場所 横須賀市自然・人文博物館(本館自然館)

定員 抽選20名

(小・中学生。小学生3年生以下は保護者同伴のこと)

締切 7月14日(木)



「ひみつの部屋探検(れきし)」

日時 8月2日(火) 13:30～15:30

場所 横須賀市自然・人文博物館(本館)

定員 抽選20名

(小・中学生。小学生3年生以下は保護者同伴のこと)

締切 7月19日(火)



「夜の昆虫かんさつ」

日時 ①8月5日(金)②8月6日(土) 17:00～20:30

場所 天神島臨海自然教育園

定員 各回抽選20名(小・中学生。小学生は保護者同伴のこと)

費用 参加費1人50円

締切 7月22日(金)

申込 希望者は、往復はがきに行事名・希望の日時・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。

希望者多数の場合、市内在住者を優先。

問合せ先 横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95 電話824-3688

## 市民大学前期講座(追加募集)

「横須賀の自然を調べる(昆虫編)」

デジカメで調べる身近な公園の虫

【横須賀市自然・人文博物館協力講座】

日時 7月14日、21日、8月4日、18日、9月15日、29日  
10月6日 10:00～12:00〔全7回〕

【予備日】7月27日、8月24日、10月13日

場所 生涯学習センター(まなびかん・ウェルシティ内)等

講師 横須賀市自然・人文博物館学芸員、三浦半島昆虫研究会

内容 身近な公園の虫たちを自分で撮りながら調べる講座

定員 20名

受講料 3,990円

申込 電話、来館

問合せ先 生涯学習センター 電話046-822-4873

〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

他の講座や詳細は市民大学募集要領または生涯学習センターHP(<http://manabikan.net/>)をご覧ください。

## 横須賀エコツアー

横須賀にあるたいせつな資源を、守っていきながら、多くの人に身近にふれあっていただくツアーです!



### ○猿島フィールド

- ・東京湾唯一の無人島で、遊べて学べる自然島です
- ・国指定史跡の猿島砲台跡や自然、歴史、伝説などがあるフィールドです

### ○大楠・西海岸フィールド

- ・三浦半島の西側に位置し、横須賀市内で一番まとまったみどりが残っています。

### ○観音崎フィールド

- ・東京湾に突き出して横須賀市の一番東側に位置し、浦賀水道を行き交う船が望めます。

### ○走水低砲台跡(NEW!)

- ・東京湾の防備のため作られた砲台跡です。
- ・当時の姿をしっかりと残したレンガ造りの弾薬庫や兵舎などの歴史遺産が見られます。

※ツアーガイド同伴のみ見学可

ツアーの申込・詳しい情報はホームページをご確認ください  
HP(<http://yokosuka-ecotour.jp>)

## 「自然ふれあい楽校」サマースクール2016

	日時	プログラム	対象(募集人数)
①	7月16日(土) 10:10～14:20	第5回三浦半島森づくりフォーラム 「森づくりを通して森から学ぶこと」	高校生以上(30名)
②	7月17日(日) 10:10～15:00	環境カウンセラー養成支援講座	環境活動実践者(10名)
③	7月17日(日) 10:10～14:20	森の自然観察会	こども～おとな(20名)
④	7月17日(日) 10:10～14:20	森のようちえん「めぐりの森たんけん」	保護者同伴(15家族) 幼児～小学3年生
⑤	7月18日(月・祝) 10:10～14:20	野原と小川の自然観察会	こども～おとな(20名)
⑥	7月18日(月・祝) 15:30～18:30	センス・オブ・ワンダー散策会 「森の神秘と不思議に心を寄せて」	中学生以上(20名)

場所 ①湘南国際村センター、湘南国際村めぐりの森 ②湘南国際村センター ③④⑤⑥湘南国際村めぐりの森

費用 ②⑥1人1,000円、④1家族1,000円、①③⑤1人500円

申込期間 6月10日(金)～7月13日(水) \*定員になり次第締め切り

申込 内容番号(①～⑥複数可)と〒・住所・氏名・年齢・電話・FAX をメール、FAXのいずれかで送信

問合せ先 全プログラム 三浦半島「自然ふれあい楽校」 FAX 046-857-8636 E-mail [miurafureai@gmail.com](mailto:miurafureai@gmail.com)

携帯 080-5475-1395

②環境カウンセラー養成支援講座について

携帯 090-5499-0831

E-mail [hirojit@jcom.home.ne.jp](mailto:hirojit@jcom.home.ne.jp)



# 第5回横須賀ECO大賞受賞団体の活動内容

## 三浦半島「自然ふれあい楽校」

『横須賀ECO大賞』受賞

三浦半島「自然ふれあい楽校」は、湘南国際村めぐりの森を拠点とし、地域の歴史や風土、生物多様性に配慮し、環境の保全、再生に取り組んでいます。

12団体が連携・協働し、里山再生や市民が参加できる観察会、啓発のためのスクール、さらには地域の学校等と連携した環境教育など、幅広く活動しています。

夏には「自然ふれあい楽校サマースクール2016」も行います。詳細は左のページをご覧ください。

### 運営団体

We Love自然ふれあいの森、おおくすエコミュージアムの会、NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター、上山口町内会、シャイン・フォレスト、葉山の環境を守る会、葉山・花と緑のまちづくりを進める会、NPO法人三浦半島生物多様性保全、三浦半島自然保護の会、森のKIKIこどもの家、NPO法人よこすかパートナーシップサポーターズ、横須賀「水と環境」研究会

(50音順)



自然観察会



観察路の草刈り

## NPO法人横須賀港湾防災支援会

『地域活動部門賞』受賞

NPO法人横須賀港湾防災支援会は、横須賀の海の安全対策（海上における安全確認、航行指導など）とともに、海上の浮遊物、漂流ゴミの収集活動など、環境保全の視点を持って取り組んでいます。

「横須賀の海を美しく」を合言葉に、毎月海岸の清掃や美化啓発を行っています。12月には横須賀本港で「よこすか海の大清掃」を、他団体と協働により実施しています。（写真参照）



よこすか海の大掃除

美化活動の様子



横須賀港清掃活動



連絡先 伊藤（事務局）  
電話 090-5212-5114

学校・園部門賞「武山小学校～みどりのくにプロジェクト～」、特別賞「追浜中学校科学部」は次号掲載します。

## 企業の環境活動をご紹介します

### 環境ポスターコンクールについて

横須賀市では、「環境」をテーマに、小・中学生の描いた作品を募集するポスターコンクールを行っています。

この取り組みに賛同された市内の企業等が協賛となり作品を選考し、賞状と記念品を授与していただいています。

#### 【協賛企業（五十音順）】

イオンリテール(株)イオン久里浜店、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、(株)湘南衣笠ゴルフ、NPO法人湘南国際、湘南菱油(株)、NPO法人地球環境フォーラム、(一財)電力中央研究所横須賀運営センター、東京ガスライフバル横須賀、東京電力パワーグリッド(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、(株)トライアングル、日産自動車(株)追浜工場、横須賀グリーンゴルフ、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、横須賀モアーズシティ

協賛企業の環境活動をご紹介します

### 東芝ライテック株式会社

東芝ライテック株式会社は、日本で最初に白熱電球・蛍光灯を実用化した東芝の照明技術を継承する総合照明メーカーです。

#### 【環境活動について】

環境コミュニケーションの取り組みとしては、平成20年から近隣の小学生を対象に、地球温暖化、廃棄物の分別、水の浄化、実験、構内環境施設の見学等、参加型の環境学習会を行っています。

生物多様性保全の取り組みとしては、平成24年に三浦市の小網代の森に生息する希少植物「ハマカンゾウ」を本社緑地内に28株移植し、

株数を100株まで増やすことに成功し、平成26年に小網代の森に返還しました。その功績が認められ神奈川県平成26年度かながわ地球環境賞を受賞しました。



学習会の様子



海には月の引力の影響を受けて、海面の高さが高くなる「満潮」と低くなる「干潮」があり、これを「潮汐（海洋潮汐）」と呼びます。潮汐は毎日2回、海底と陸地をくり返す「潮間帯」という環境をつくり出します。潮間帯でくらす生き物は、干出と水没にさらされる過酷な環境の中で生き残るため、くふうをこらした生活を送っています。今回はそんな潮間帯の代表的な生き物を紹介します。

**クロフジツボ**は満潮の時にだけ海中に沈む高い位置の岩の上に付着してくらす、直径2cm前後の甲殻類です。ほとんどの時間を乾燥しやすい空气中で過ごすため、殻の中に水分をためて殻の口を固く閉ざし、次の満ち潮を待ちます。また、強い日射で殻の中の温度が高ならないように、殻は断熱効果の高い多孔質の構造となっています。

**ヒザラガイ**は全長5cmほどの8枚の殻をもった貝類で、潮間帯の岩に張り付いてくらし、中央に並んだ貝殻と厚く硬くなった外套膜（がいとうまく：殻の周囲の部分）で乾燥から身を守っています。晴天時にはほとんど動くことはありませんが、夜間や雨天の時には岩の上をはいまわり、じょうぶな歯で岩の表面の藻類をけずりとして食べます。

**タテジマイソギンチャク**は直径2cmほどの小型のイソギンチャクで、波の静かな場所の岩の上に張り付いてくらし、満潮のときは花のように開く触手を伸ばしますが、干潮になると口をすぼめて閉じてしまい、「きんちゃく袋」のような姿に変わります。口を閉じたタテジマイソギンチャクは、体内にたくさんの海水を含んでいて、次の満潮までの乾燥に耐えることができます。



クロフジツボ



クロフジツボの殻の断熱構造(断面)



ヒザラガイ



満潮時(左)と干潮時(右)の  
タテジマイソギンチャク

( 横須賀市自然・人文博物館 萩原清司 )

## みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館  
(発行元)〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

